

第8回東通村総合教育会議議事録

1. 日 時 令和2年12月21日(月) 11:00~12:00
2. 会 場 東通村交流センター3階「委員会室」
3. 出席者 東通村総合教育会議構成員
- | | |
|----------------------|---------|
| 東通村長 | 越 善 靖 夫 |
| 東通村教育委員会 教育長 | 奥 島 涼 子 |
| 東通村教育委員会 教育長職務代理者 | 大 槻 淳 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 橋 本 健 一 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 北 川 幹 雄 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 竹 林 政 人 |
| 東通村総合教育会議オブザーバー | |
| 東通村副村長 | 林 春 美 |
| 東通村総務課 課長 | 小笠原 伸 一 |
| 東通村いきいき健康推進課 課長 | 三 國 正 人 |
| 東通村教育委員会事務局 参事・教育次長 | 大 舘 富 雄 |
| 東通村教育委員会事務局教育総務課 課長 | 角 本 晃 |
| 東通村教育委員会事務局教育指導課 課長 | 長 内 人 志 |
| 東通村教育委員会事務局給食センター 所長 | 松 木 敏 夫 |
| 東通村総合教育会議事務局 | |
| 東通村経営企画課 課長 | 菊 池 敢 世 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 | 高 橋 聖 子 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 | 五十嵐 裕 也 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 主 査 | 杉 本 卓 磨 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 主 事 | 小 栗 愛 菜 |
4. 傍聴者 なし

5. 会議内容

(1) 開 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 高橋 聖子

(2) 村長挨拶 村長 越善靖夫

本日、第8回目の総合教育会議の開催をお願い致しましたところ、教育委員の皆様には、何かとご多用の中、ご出席頂き、誠に有り難うございます。

また、日頃、村行政運営の各般に亘り、ご理解並びにご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

さて、昨年までの会議では、村の最重要課題である、幼小中一貫教育の推進に向け、なお一層、努力していくこと等を協議し、有意義な意見交換が出来たと思っており、これまでの協議を踏まえ、教育委員会では、第二次東通村教育大綱の目指すべき方向に向け、着実に施策を展開していることと存じております。

本日の会議は、第2次教育大綱のもと、東通村の教育の現状と課題、そして、教育デザインの取り組み状況等について、意見交換をさせて頂くものであります。

教育委員の皆様におかれましては、是非とも、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、開会に当たっての挨拶と致します。どうぞ宜しくお願い致します。

(3) 議事録署名者指名 議長：村長 越善靖夫

それでは、議事に入る前に、事務要領第4条第2項において、議事録の署名について、本会議の構成員から指名することになっておりますので、奥島教育長と橋本教育委員を指名しますので、宜しくお願いします。

(4) 議 事 議 長：村長 越善靖夫

○議 長：越善村長

「議事（1）東通村教育の現状と課題について」事務局より説明してください。

○説明者：菊池経営企画課長

本日の総合教育会議では、議事（1）東通村教育の現状と課題につきまして、昨年度に引き続き、村長と教育委員により、東通村の教育の現状と課題につきまして、ざっくばらんに議論、即ち協議・調整をして頂き、協議・調整のなされた内容につきましては、事務レベルで対応し、令和3年度当初予算等への反映や、今後の教育行政等に反映させていきたいと存じます。以上です。

○議 長：越善村長

只今、事務局より、今回の会議では、ざっくばらんに「東通村教育の現状と課題」について議論し、議論した内容は、事務レベルで早急に調整し、今後の教育行政に反映していきたいとの説明がありました。

昨年度の総合教育会議でも、様々な教育の現状と課題、対策等について、議論を行いました。今回の会議でも、総合教育会議の趣旨である教育条件の整備等、重点的に講ずべき施策

等について議論をして参りたいと思いますが、教育委員の皆さん宜しいでしょうか。

○議長：越善村長

事前に教育デザインの検討状況、学力の向上について、中学校・高校卒業後の進路についてということで配布しておりますが、一つずつ区分して意見交換したいと思っております。

まず、教育デザインの進捗について、教育デザイン30のうち、まだ実施されていないものがあるのではないのでしょうか。昨年も話をしたが、実施されていないデザインの検討状況、進捗についても含めてざっくりばらんにお話しいただければと思います。

○竹林委員

今回、初めて参加します。デザインの進捗状況について、データや計画の進捗などの達成度の指標などありますか。

○奥島教育長

今、実施されていないデザインについては、30事業中19事業実施、一時中断2事業、未着手、未検討9事業です。実施しているのは、少人数教育、IT教育、2学期制導入、芸術教育、総合学習、塾、都市部との交流、学童保育、乳幼児教育などです。未着手としては、移動図書館、生徒寮、1クラス2教師、学校訪問看護システムなどです。

去年、乳幼児教育プログラムが話題に上がったが、5歳児の教育については、現状は子ども園と調整し、毎日午後のきらきらタイムを設置して英語教育をしています。

体育、芸術など、小学校につながるものとしてどうしていくかは、子ども園と調整中です。5歳児については、数年前から、子ども園で培った力が小学校につながる形となることを目的にタートカリキュラムを始め、今年はコロナの関係で学校開始時期が遅れたこともありスムーズにはいかなかったが、開始後は実施しています。

○竹林委員

実施すべきものはほとんど終わっているものの、生徒寮などは財政的に厳しい状況であるため未着手であり、今後の実施も厳しいということか。できるものは終わっているということか。

○議長：越善村長

30の教育デザインがあり、ここ数年は新たなデザインが見受けられないので、その点についてお聞きしている。子供の学力の向上と一体として議論していきたいが、まず、教育デザインの中身について伺いたい。

○竹林委員

教育デザインの追加や変更など、我々の意見が組み込まれることはあるか。教育デザインの状況はどのようになっているのか。

○議長：越善村長

それでは、教育デザインの経緯について、事務局から説明をいたします。

○説明者：菊池経営企画課長

教育デザインの経緯について、平成16年に村長部局で組織を立ち上げ、教育デザインを作った。

教育デザインを作った理由としては、当時、学校が統合されておらず、それぞれの地域に小中学校、児童館等があった状況。この状況は競争力がなく、小さな集団の中でしか教育できないという将来のことを危惧して、学校統合や一貫教育を進めるため、村内の教育に携わる人や保護者、専門家、大学の先生と調整してデザインを作った。

その後、平成17年に教育委員会で教育政策室を作り、デザインを進めていくということで体制をつくった。

進めている19事業については、できる事業から実施するというので、立ち上げ後5年程度で実施しており、積み残したデザインについてはその後進んでいない状況という感想です。そのような状況があって、村長が意見を伺っているというものであります。

○議長：越善村長

東通村の子供たちが今以上に羽ばたいていけるようにという教育方針であり、その点をもって皆様の意見を伺いたい。

○竹林委員

生徒寮について、いつ頃までにやるのかなど、村長はどのように考えているのか伺いたい。

○議長：越善村長

生徒寮もそうだが、教育デザイン30をどう進めていくのかという中で考えていきたい。通学など、様々な状況を総合的に判断し、生徒寮を建てるというのも一つの方策として考えています。寮を建設する前に様々な施策を展開し、その中で寮を建てるかどうか考えていきたい。

○竹林委員

集団生活をさせるというのはいい面もあると思います。対象をどうするかなどの議論はあると思うが、ぜひ進めてほしいという意見です。

○議長：越善村長

教育デザイン全体の中で考えていかなければならないと考えています。

○大槻教育長職務代理者

来年度に向けた村費の先生の募集が始まっています。10人の応募に対して8人ということ聞ききました。先生の絶対数はどんどん減っている中で、将来的な人材育成というのを考える中で、村費の先生を単年契約ではなく長期で考えて募っていくのも手かと思っている。財政的な面でネックになるという話もあると思うが、長期的に考えたときにどう考えるか。

○議 長：越善村長

教育デザインの枠の中で考えていくものと考えている。財政が苦しいので村費を入れないということではない。

○奥島教育長

村費教員については、子ども達の学力の向上に向けて任用するという事で、習熟度別授業などを行ってもらっています。一昨年から英語科や東通科、学力の向上について検証しています。今年度は、学力向上に係る村費教員の効果の検証をやる予定だったものの、コロナの影響で岩手の先生が来ることができなかつたり、カリキュラムの遅れがあったため、来年度実施いたします。ただ、村費教員の活用の仕方については効果的に活用するよう学校に指導しています。村費教員の設置が、プラスまたはマイナスになるかの検証は令和3年度に実施します。

○大槻委員長職務代理者

1学級35人になるなどの流れの中で、村費教員の任用は学力の向上に役立つと思います。長期的な考えの中で、将来につながるようにしていってもらいたい。

○議 長：越善村長

村で本採用している先生もいる。一回で全て本採用とするのではなく、村費教員人用の効果が見えるのであれば、村費の先生を追加するなど、教育デザインの進捗を勘案して判断していく。

教育デザインの進捗、現状の学力はどのレベルにあるのか、教育委員会はそれをどう評価しているのか、学力について目標があるのであれば、その達成のためにどうしていくのかについて話をしたい。

○奥島教育長

学力調査については、国が小6と中3、県が小5と中2ということで学力調査を行っていたが、コロナの関係で今年度は実施されていない。昨年については、中学校は国語、社会、理科、英語は県平均を超え、数学は県平均レベル。小学校は平成25～26年は県平均以上だったが、年々下がってきており、小学校が目指すのは県平均。

中学校の学力向上の取り組みについて、習熟度については、水曜日の5限目にワンアップタイムという時間を設定し、その中で学級ごとに子供たちのレベルに合わせた授業を行っている。小学校はひとみタイムを設けて、各学級ドリルをやっている。6年生はクラスの枠を

超えて習熟度別でやっている。一番大きく成績が落ちているのは算数、数学。そこを中心に習熟度別を行っている。

○議 長：越善村長

以前は問題意識を解決するために広報誌等で学力を公表していたが、ここ数年は見受けられていない。最近公表していない理由はあるのか。

○奥島教育長

学力調査の公表についての取り扱いについて、公表できるようになったのはつい最近です。公表する場合については、結果だけではなく学習の課題についての取り組みなど細かい部分まで公表する必要があります。

また、小学校も中学校も1校しかないため、個人を特定されないようにという配慮もあり、こういった形で公表すべきか検討が必要です。

○議 長：越善村長

東通村の小中学校が全国、青森県、下北の中でどういう位置づけなのか出せないわけがない。名前は入れなくても全体の枠として公表できないものか。また、大学名など高校卒業後の進路についても把握しておくべきではないか。

○竹林委員

学校の成績がどうなのかまでは保護者にはわからない。平均点などを、広報等に掲載するのは保護者の意識向上という意味でも賛成です。

○北川委員

広報等掲載には賛成です。保護者だけではなく村全体に知らせるというのは良い。

○竹林委員

学校の先生の負担も大きくなっており、この結果を見て教育を手伝う人も出てくるかもしれない。

○議 長：越善村長

高校卒業の後の進路について、把握できないものか。

○奥島教育長

卒業後の進路について、平成10～14年生まれで大学に行っている人は保護者アンケートを取って一部は把握している。対象者156名、回答者114名、うち59名が進学。

○議 長：越善村長

進学先の高校ならだいたいわかるが、大学となると把握できない現状のため、教育委員会

としてそこはどう考えているか。奨学金を利用しているなどの人はわかるが、それ以外はわからない。東通の卒業生がどのレベルにあるのか。

○大槻委員長職務代理者

村で、コロナ対策で行った学生ふるさと応援便を実施していたが、あれはどのくらいあったのか。

○菊池経営企画課長

申請によるものであり、すべて網羅しているわけではなく、また、専門学校なども含め、80件程度申請が上がっていた。全部把握できているというわけではなく、本人からの申請による事業となります。

○竹林委員

進学先について毎年把握はしようとしているか。

○奥島教育長

高校では開示できないので聞けず、保護者への聞き取りという形しかできません。

○竹林委員

大学に行ったら5万円補助などの形で情報収集するなどのやり方もあるのではないか。

○北川委員

話は戻るが、教育デザインについて、委員になって5年くらいになるが、小中一貫やるとなると、動いてきた中であまり小中が連携できておらず、実際に小中が連携できるようになったのはここ数年であるというイメージ。今の制度を進めるべきか、これまでやってきたことの自己評価をしてから新しい事業に手を付けるか、費用対効果を見ながら実施するというのも必要ではないか。

○議長：越善村長

村としては、学力向上のため、如何に教育委員会・学校と意思の疎通を図るか。デザインの趣旨を学校現場に徹底して、それに基づいて教育を展開していくことが必要である。そのため、今は県費の先生2人を全額負担し、来てもらっている。

検証については、当然検証やっていかなければならない。

○北川委員

ニュージーランドの海外研修者の就職先など、会議等で報告いただいたものもあり、効果について、少しは見えていると思います。

○議 長：越善村長

教育委員会の中で論じて進めていただければ、その中で財政的に必要なものがあるのであれば、それは当然支えていく。

○橋本委員

11月24日学校訪問した。昨年、中学校は県平均を超えており、下北群内でもトップだった。成績の低い子には再度教えたり、いろんなプランを立てて、目標を設定し取組んでいる。学力向上について、コロナの影響で調査ができず、学力の把握には苦慮していた。

○議 長：越善村長

ここ1～2年という話をされたが、教育デザインは15年以上経っており、これまでの取り組みについて、年～数年に1回などで検証していかなければいけない。教育現場だけでなく、行政にも教育デザインをしっかりと普及させ、一体となって取り組んでいければという趣旨から話をしている。

学校現場に教育デザインを浸透させ、議論し、実践していくことが学力の向上につながると考えている。その点委員の皆様もご承知のことと思いますが、今以上にやっていただければと思います。

○北川委員

コロナに対して、オンライン授業が多くなってきております。大学と提携しサテライトキャンパスを作ることもあります。時代に合わせた動きをすることも必要です。

大学に入学しても通学しないということもある状態で、それに対する新たな大きな対応を考えていく必要もあると思います。

○議 長：越善村長

それについても十分わかるが、東通村がデザインを作ったのは何のためなのか、学校現場も理解して頂き、教育デザインに沿って取組んでいただければ、非常時の場合でも対応できる体制が整ってくると思う。

○大槻委員

去年話にあった水産関係の北海道大学の話について、進捗状況はどうなっていますか。

○議 長：越善村長

農業振興については、弘前大学と連携協定を締結し、農学生命科学部と農業振興に関する調査研究に取り組んでいます。そして、村では旧北部中学校エリアを農業拠点とし整備を進め、加工センターを建設中です。

水産振興については、北海道大学と連携協定を締結しました。今後、尻屋小を宿泊施設として改修し、大学の生徒、先生が東通に来て様々な調査研究をしながら教育の一翼を担えるようにいたします。将来的には子供が水産に対して興味を持ち、漁業を営む人だけでなく技

術者なども含めて、東通村の水産に興味を持てるようにしたいと考えています。

○大槻委員

そういった施設が増えることで、村外に出た子ども達が村に帰って来て、水産に携わる職場で働けるような形につながると良い。

○議 長：越善村長

村には6.5kmの海岸線があり、つくり育てる漁業、地球温暖化問題や海運業の視点から注目がある。今までの自然の中で、様々なものが海の中に生息しており、地元では、それを興味がなく捨てているとか、それらに対してお金になるとかある。大学との研究成果の中で新たな価値が生まれるかもしれない。

その中で、子ども達がそれなりの学力を身につけることが大事であり、環境だけ整備しても、子供たちが意欲をもって学ぼうとしなければ何にもならない。そのためにも、地元、漁業者、村が一体となって取り組んでいきたい。

○竹林委員

教育デザインなどについて、教育委員会ともう少し話をしたいと思いました。

○議 長：越善村長

今日は総合教育会議の中でほとんど教育デザインの話となったが、教育デザインの話については、なぜ作ったのか、なぜそうしているのかということがあれば、勉強会などいつでも歓迎します。

○大槻委員

総合教育会議も年2回くらいあってもいいのかもしれない。

○竹林委員

この会議はオブザーバーなど参加人数も多いため、教育委員会議の際に別途時間を設けて、村長に来ていただくなど、もう少し違う形でお話する機会があってもいいかと思う。

○議 長：越善村長

教育委員会事務局がよろしければ、いつでも出席いたします。

○奥島教育長

わかりました。

○橋本委員

今日の会議で評価された部分など、教育について我々も検討し、評価委員に意見をもらいながら、頑張ってやっていきたいと思います

○議 長：越善村長

いろいろご意見いただきありがとうございます。大変、有意義な意見交換を行うことができました。いただいた意見で予算に反映できるものは反映していきます。

○議 長：越善村長

続きまして、「議事(2)今後のスケジュールについて」事務局より説明願います。

○説明者：菊池経営企画長

資料2をご欄ください。来年度の予定については、今年度と同様に考えておりますが、会議を複数回行った方が良いか、村長と事務局で決めさせていただきます。

○議 長：越善村長

それでは、事務局より説明がありました件について、ご意見やご質問がございましたら、お願い致します。

○北川委員

会議の時期について、もう少し早めにしていただけないか。ここで出た話を予算に反映するなどの議論ができれば良いと思います。

○説明者：菊池経営企画課長

教育予算については教育委員会事務局が作成し、事前に説明しているはずですが、こちらでは、教育委員会から要求のあった予算から、これから具体的に来年度の予算を作りますので、会議のタイミングとしては、11月～今くらいがちょうどいいのではないかと考えております。

○橋本委員

予算の説明は、教育委員会事務局から説明は受けています。

○議 長：越善村長

タイミングを見て、早めにやるようにいたします。

○議 長：越善村長

それでは、「議事(3)その他」についてであります。何かございましたらご発言をお願いいたします。

○橋本委員

オブザーバーとして小中学校などを入れるのはいかがか。

○議 長：越善村長

ダメということではないが、教育委員会事務局の考えもある。学校を入れるのは、このような会議の場ではなく、別途会議を開催するというのも一つですので、要望として承る。

その他、特にご意見等が無いようなので、これにて議事を終了し、進行を司会に返します。

(5) 閉 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 高橋 聖子

<議事録の署名>

令和 3 年 1 月 8 日

議事録署名者 奥島涼子

議事録署名者 橋本健一